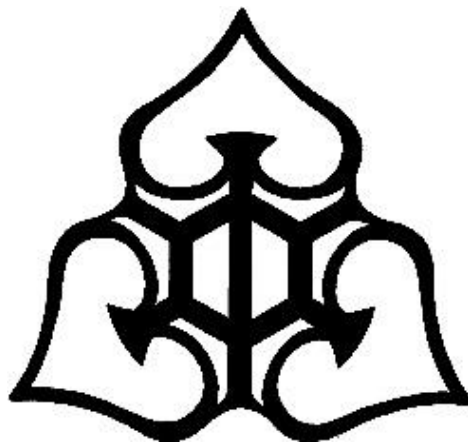


令和4年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」



大阪市立歌島中学校

令和5年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題として、“生徒の主体性の育成”“生徒の学力の向上”“教員の授業力の向上”が挙げられる。ここ数年来続いた「荒れ」の兆候は一定の落ち着きを見せるものの、手放しで安堵できる状態ではない。しかし包括的に見て、勉学・運動・行事に集中し、落ち着いた教育活動が展開されており、令和4年度もより質の高い教育を実践していく。

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査をはじめとする各種調査及び学校評価アンケート（対象：生徒・保護者・職員）の結果分析を踏まえて教育活動を進めている。各種調査・アンケートの数値は、好ましい方向に表れているが、視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているわけではない。とりわけ“生徒の学力の向上”に関しては、家庭における自主的な学習習慣が定着しておらず、自己有用感の低さ等、複合的な多くの課題を抱えており今後の取り組みが重要である。

また、“教員の授業力の向上”について、生徒の興味・関心を引きだす「魅力ある授業」の展開が喫緊の課題であり、抜本的な教員の意識改革が必要である。そのため、ICT 機器活用委員会を編成し、工夫と研修を重ね、教員の ICT 指導力を高めている。さらに生徒の学びが主体的になるよう、ICT 機器を活用したり、習熟度別の学習形態を展開したりしながら、生徒に「魅力ある授業」を提供できる授業体系を構築し、基礎学力の定着とともに、「わかる喜び」「できる楽しさ」を体感させ、「主体的な学びの姿勢」を高めさせる指導に取り組む。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

○規範意識を育て、笑顔あふれる学校をつくる。

- ・学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。

「楽しく学校に通っている」【90.9%】

「しっかりと挨拶をしている」【90.3%】

- ・学校評価アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 98%以上にする。

【97.2%】

- ・学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 98%以上にする。

【98.2%】

○自主的活動を応援し、自立に必要な力をつける。

- ・学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 85%以上にする。

「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」【85.8%】

「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」【86.4%】

- ・学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 86%以上にする。

【89.7%】

○キャリア教育を推進し、生徒の自己有用感を育む。

- ・学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 75%以上にする。

【73.2%】

- ・学校評価アンケートにおける「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 92%以上にする。

【93.1%】

- ・学校評価アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 78%以上にする。

【73.8%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○学力を高めるため、魅力ある授業を提供する。

- ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、授業はわかりやすい。と言っている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 65%以上にする。

【68.2%】

- ・学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 88%以上にする。

【94.7%】

- ・学校評価アンケートにおける「勉強でわからないことについて先生に質問しやすい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 75%以上にする。

【81.0%】

○家庭学習の習慣を図り、学力を定着させる。

- ・学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 60%以上にする。

【49.5%】

- ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 60%以上にする。

【51.1%】

- ・学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 70%以上にする。

【59.4%】

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、男女ともすべての種目において、全国平均を上回る。

【上回った種目（男子）8 種目中 3 種目（女子）8 種目中 3 種目】

【学びを支える教育環境の充実】

○学習自習室を作り、生徒の主体的な学びの姿勢を育む。

- ・各学年の空き教室を利用して、生徒の学習自習室を作る。昼休みや放課後に自由に来室し本を読んだり学習したり、生徒の主体的な学びの姿勢を育む。

○生徒の学習自習室を利用し、教員の余裕を生み出す。

- ・授業時間中においては、各学年教員の教材研究等の部屋として利用し、余裕を持って授業に向き合う準備ができることを目指す。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 88%以上にする。
【85.0%】
 - ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
【6.56（前年度 5.70）】
 - ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
【3.7（前年度 8.3）】
- ※ 前年度不登校であった生徒のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握
- ※ 改善とは、次の状態の場合をいう。（複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する）
- 1 出席日数の増（学校内外で ICT 等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む）
 - 2 ICT 活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
 - 3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

学校園の年度目標

1. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。
「楽しく学校に通っている」【90.9%】
「しっかりと挨拶をしている」【90.3%】
2. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 85%以上にする。
「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」【85.8%】
「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」【86.4%】
3. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 88%以上にする。
【89.7%】
4. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「先生は、いろいろな相談にのってくれると思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 88%以上にする。
【90.5%】
5. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 98%以上にする。
【98.2%】

6. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。

【73.2%】

7. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を93%以上にする。

【93.1%】

8. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。

【73.8%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を45%以上にする。

【41.6%】

・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

【3年生：国語(R3)0.99→(R4)1.02/数学(R3)0.97→(R4)0.94】

【2年生：国語(R3)0.98→(R4)1.00/数学(R3)0.98→(R4)0.97】

・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を80%以上にする。

【54.9%】

・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を60%以上にする。

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果：男子54.5%、女子42.9%】

学校園の年度目標

1. 令和4年度の学校評価アンケート(保護者)における「子どもは、授業はわかりやすい。と言っている」と答える保護者の割合を70%以上に向上させる。

【68.2%】

2. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」と答える生徒の割合を90%以上にする。

【94.7%】

3. 令和4年度の各学年実施のチャレンジテスト英語において、それぞれ大阪府の得点を上回る。

【3年生：52.8(大阪府平均54.2)、2年生：52.1(同56.1)、1年生：57.3(同59.1)】

4. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。

【59.4%】

5. 令和4年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス3回を目標とする。

【3学期未実施】

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ・学習者用端末を活用した家庭学習を週1回週末に実施する。

【毎週末だけでなく、適宜課題を提示した。デジタルドリルを各自のペースで行わせた】

【毎授業の振り返りとしても心の天気やコメントを書かせ、授業力向上にも役立てた】

- ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

【ノークラブディを設定し長時間勤務の削減を図り、月平均1人当たり8時間16分削減できている。】

学校園の年度目標

1. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」と答える生徒の割合を60%以上にする。

【49.5%】

2. 令和4年度の学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。

【51.1%】

3. 令和4年度の日本漢字能力検定における、各級合格率の平均を60%以上とする。

【48.5%】

3 本年度の自己評価結果の総括

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力運動習慣等調査をはじめとする各種調査及び学校評価アンケート（生徒・保護者に学校独自実施）における調査結果の分析を踏まえて、教育活動を進めている。各種調査・アンケートの結果は包括的に見て好ましい方向に向かっており、生徒の学校での様子からも、日々勉学・運動・行事に集中し、落ち着いた教育活動が展開されている。しかし視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているわけではなく、とりわけ学習面において意識の低い生徒が多く、主体性の乏しい生徒が増加傾向にある。そこで、生徒の興味・関心を引き出し『わかる喜び』『できる楽しさ』といった成功体験を積み重ねることで、個に応じた基礎・基本的学力の定着とともに“主体的な学び”を獲得させるよう努めた。

具体的には、ICT機器活用によるデジタル学習教材の家庭学習での利用促進や、モジュールの時間を利用し、デジタル学習教材を活用した、漢字・基礎計算・英単語等の反復学習を行わせている。学習成果の確認・発表の場面として、1年次および2年次に「漢字検定」受検、希望者対象に年に3回「英検」受検、各学年「英単語100問コンテスト」等の行事を設定し、成功体験を積み重ね自尊感情を刺激しながら“主体的な学び”を育んでいる。

また、毎日実施の「まなビスタ」への参加生徒も増加し、主体的な学びの姿勢が育ちつつある。

大阪市立歌島中学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標 (中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 88%以上にする。 【85.0%】 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 【6.56 (前年度 5.70)】 ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 【3.7 (前年度 8.3)】 <p>学校園の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。 「楽しく学校に通っている」【90.9%】 「しっかりと挨拶をしている」【90.3%】 2. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 85%以上にする。 「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」【85.8%】 「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」【86.4%】 3. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 88%以上にする。 【89.7%】 4. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「先生は、いろいろな相談にのってくれと思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 88%以上にする。 【90.5%】 5. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 98%以上にする。 【98.2%】 6. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 75%以上にする。 【73.2%】 7. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 93%以上にする。 【93.1%】 8. 令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」 	B

<p>の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【73.8%】</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>ルールや規則を守らせる。</p> <p>・登校指導強化週間を利用し、服装や時間を守らせ、遅刻を減らす。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校評価アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 97%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【96.3%】</p>	B
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>授業や時間の大切さを認識させる。</p> <p>・月に一度「ノーチャイムデー」を設け、生徒の自律を促す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・ノーチャイムデー実施日における授業遅刻者を 1%以下にする。</p> <p style="text-align: right;">【平均 1.50%】</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめゼロを目指す。</p> <p>・生徒会役員を中心に、全校生徒による「いじめ撲滅運動」を実施し『いじめゼロ』を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校評価アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 97%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【97.2%】</p>	B
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>TP0 をわきまえることのできる生徒を育む。</p> <p>・場面に応じた正しい言葉使いで会話し、元気よくあいさつができるように指導する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校評価アンケートにおける「わたしは、しっかりとあいさつをしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【90.3%】</p>	
<p>取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>生徒を褒めて育てる。</p> <p>・いいところ見つけを活用し、一人ひとりの生徒に向き合い理解に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・SKIP「いいところみつけ」書き込み件数を年間 700 件以上とする。</p> <p style="text-align: right;">【3/20 現在 6 件】</p>	C

<p>取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】 校内外の美化活動を活性化する。 ・校内の美化に努め、気持ちよく学習できる環境を整える。</p> <hr/> <p>指標 ・学校評価アンケート（保護者）における「学校は、きれいに清掃され、きちんと整理整頓されている。」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を94%以上にする。 【93.4%】</p>	C
<p>取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校行事を充実させる。 ・生徒が主体的に取り組める学校行事を推進し、全員に達成感や成功体験を味わわせ、自己有用感を育む。</p> <hr/> <p>指標 ・学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。 【73.2%】</p>	B
<p>取組内容⑧【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 3年間を見据えた系統的なキャリア教育を実践する。 ・1年次「夢授業、仕事とは」・職業講話、2年次 職場体験、3年次「夢授業、自らを信じ」等の多様な体験活動を通して、豊かな心の向上を図り、自己有用感を育む。</p> <hr/> <p>指標 ・学校評価アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたい」「私には夢がある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合をそれぞれ『人の役に立ちたい』95%、『夢がある』80%以上にする。 「人の役に立つ人間になりたい」【93.1%】 「私には夢や目標がある」【73.8%】</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>○規範意識を育て、笑顔あふれる学校をつくる。 規範意識の醸成については、登校指導・全校集会・地域巡視等により概ね順調に進んでいる。SKIPの「いいところみつけ」については、「心の天気」導入により併用して生徒理解を進めている状況である。今後、校務内容や利用ツールの活用方法を整理しながら活性化させたい。</p> <p>○自主的活動を応援し、自立に必要な力をつける。 生徒会役員や学級委員を中心に、生徒の果たすべき行動や責任を考え実行する方向へと導きつつある。その動きを校則の見直しを自主的に考えさせるきっかけとしたいと考えている。体育大会の競技を決定するにあたり、生徒の意見を取り入れた。</p> <p>○キャリア教育を推進し、生徒の自己有用感を育む。 2年生で実施予定であった「職場体験学習」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。1年生の「職業講話」については、3月中旬に延期して実施予定である。3年生で高等学校の専門科および専門コースの先生を招聘した出前授業を行った。生徒は22講座に分かれて授業を体験し、中身の濃い充実した時間を過ごすことができた。新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも日程調整や実施内容を工夫しながら取組を充実していきたい。</p>	

次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今年度の取り組みを次年度も継承し、拡大充実させていくよう考えている。とりわけ「うたじまラーニングコモンズ」の実施については来年度も最重要課題としてとらえ、「まなビスタ」の運営教職員の配置や稼働については工夫を凝らしていく。また、図書館の利用生徒数については国語科のみならず、全教科においても課題として捉え、利用方法を模索し工夫する必要がある。 ・ICT機器活用プロジェクトチームが中心となり、生徒ひとり1台パソコンの家庭での活用方法を十分協議する必要がある。また、それらを教職員に周知させ、効率の良いパソコン活用方法を学ぶ必要がある。

(様式2)

大阪市立歌島中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標					達成 状況																																				
<div>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</div> <div>全市共通目標（中学校）</div> <div>・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を45%以上にする。</div> <div>【41.6%】</div> <div>・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</div> <table><tr><th>学年</th><th>教科</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>ポイントの増減</th></tr><tr><td rowspan="2">3年生</td><td>国語</td><td>0.99</td><td>1.02</td><td>+0.03</td></tr><tr><td>数学</td><td>0.97</td><td>0.94</td><td>-0.03</td></tr><tr><td rowspan="2">2年生</td><td>国語</td><td>0.98</td><td>1.00</td><td>+0.02</td></tr><tr><td>数学</td><td>0.98</td><td>0.97</td><td>-0.01</td></tr><tr><td rowspan="2">1年生</td><td>国語</td><td>—</td><td>0.98</td><td>—</td></tr><tr><td>数学</td><td>—</td><td>0.98</td><td>—</td></tr></table> <div>・大阪市英語力調査におけるC E F R A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を80%以上にする。</div> <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr><tr><td>41.9</td><td>54.9</td></tr></table> <div>・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。</div> <div>【全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果：男子54.5%、女子42.9%】</div>					学年	教科	令和3年度	令和4年度	ポイントの増減	3年生	国語	0.99	1.02	+0.03	数学	0.97	0.94	-0.03	2年生	国語	0.98	1.00	+0.02	数学	0.98	0.97	-0.01	1年生	国語	—	0.98	—	数学	—	0.98	—	令和3年度	令和4年度	41.9	54.9	C
学年	教科	令和3年度	令和4年度	ポイントの増減																																					
3年生	国語	0.99	1.02	+0.03																																					
	数学	0.97	0.94	-0.03																																					
2年生	国語	0.98	1.00	+0.02																																					
	数学	0.98	0.97	-0.01																																					
1年生	国語	—	0.98	—																																					
	数学	—	0.98	—																																					
令和3年度	令和4年度																																								
41.9	54.9																																								

学校の年度目標

1. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」と答える生徒の割合を60%以上にする。

【49.5%】

2. 令和4年度の学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。

【51.1%】

3. 令和4年度の各学年実施のチャレンジテスト英語において、それぞれ大阪府の得点を上回る。

学年	学校平均	大阪府平均	学校平均－大阪府平均
3年生	52.8	54.2	-1.4
2年生	52.1	56.1	-4.0
1年生	57.3	59.1	-1.8

4. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。

【59.4%】

5. 令和4年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス3回を目標とする。

【3学期未実施】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 生徒の自学自習の態度や習慣を育む。 ・図書館および学習自習室において「まなビスタ」を毎日実施する。生徒一人ひとりの個に応じた学習場所としての活用を促し、学力の向上を目指す。	B
指標 ・年間を通して、毎日「まなビスタ」を実施する。 <div style="text-align: right;">【ほぼ毎日実施】</div> ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。 <div style="text-align: right;">【51.1%】</div>	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学力を向上させるため、ICT機器活用授業を活性化する。 ・ICT機器活用委員会が中心となり、授業でICT機器を活用する教員を増やす。	B
指標 ・学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」に肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。 <div style="text-align: right;">【94.7%】</div>	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 図書館を活性化させ、総合的な学習の場「うたじまラーニングコモンズ」とする。 ・図書館を読書する場のみならず、授業でも活用できる総合学習室に位置づけ、各	C

<div>教科や学級活動等で活用することを目指す。</div> <div>・放課後学習会「まなビスタ」を実施し、生徒の主体的な学びを育む。</div> <div>・図書館の廊下側の掲示板を利用し、学力向上や文化部作品等の情報発信を行う。</div>																			
<div>指標</div> <div>・国、数、理、英の授業において、図書館の利用回数を年間 100 回超とする。</div> <div>【未集計】</div> <div>・令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 86%以上にする。</div> <div>【84.6%】</div> <div>・令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 65%以上にする。</div> <div>【59.4%】</div>																			
<div>取組内容⑤【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</div> <div>使える英語力を育む。</div> <div>・単語テストや英単語 100 問コンテスト等の実施により、英語に興味を持たせる。</div> <div>・図書館に英検受検に関するコーナーを設置し、気軽に生徒が閲覧・貸出できる環境を整える。また、英検受検に際し、学校を準会場とし、生徒が受検しやすい環境を作る。</div> <div>・英語力を高めるため、小テストによる「スモールアップ学習」を実施する。</div>				B															
<div>指標</div> <div>・各学年 2 学期末に行う教科アンケートで「英語の授業が楽しい」「英語が好きである」に肯定的な回答をする生徒の割合を 80%にする。</div> <div>・各学年実施のチャレンジテスト英語において、それぞれ大阪府の得点を上回る。</div> <table><tr><td>学年</td><td>学校平均</td><td>大阪府平均</td><td>学校平均－大阪府平均</td></tr><tr><td>3 年生</td><td>52.8</td><td>54.2</td><td>-1.4</td></tr><tr><td>2 年生</td><td>52.1</td><td>56.1</td><td>-4.0</td></tr><tr><td>1 年生</td><td>57.3</td><td>59.1</td><td>-1.8</td></tr></table>					学年	学校平均	大阪府平均	学校平均－大阪府平均	3 年生	52.8	54.2	-1.4	2 年生	52.1	56.1	-4.0	1 年生	57.3	59.1
学年	学校平均	大阪府平均	学校平均－大阪府平均																
3 年生	52.8	54.2	-1.4																
2 年生	52.1	56.1	-4.0																
1 年生	57.3	59.1	-1.8																
<div>取組内容⑥【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</div> <div>全身持久力の育成に努める。</div> <div>・保健体育の授業において、持久力向上運動の充実を図り、全身持久力の育成に努める。</div>				B															
<div>指標</div> <div>・令和 4 年度の 20mシャトルランにおいて、男女とも 1 学期と 3 学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス 3 回を目標とする。</div> <div>【3 学期未実施】</div>																			
<div>取組内容⑦【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</div> <div>健康の保持増進に努める。</div> <div>・「ほけんだより」を毎月発行し、生徒や保護者の健康管理について啓発する。</div>				B															
<div>指標</div> <div>・「ほけんだより」毎月 1 回発行する。</div> <div>【月 1 回以上発行した】</div>																			

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>○学力を高めるため、魅力ある授業を提供する。</p> <p>○家庭学習の習慣を図り、学力を定着させる。</p> <p>上記2つの目標については、生徒の日常の学習態度や生活態度などから推察し、概ね達していると思われる。これらの態度が学力として結びつくよう、後半に向けてこれまでの学力調査結果を生かした授業研究や自学自習の取組を進める必要がある。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査で、男女ともすべての種目において、全国平均を上回る。</p> <p>コロナ禍の中、生徒は十分な運動機会に恵まれていない状況にある。体育の授業や部活動、学校行事等の中で工夫をしながら、生徒が運動する機会を確保できるよう努めていきたい。</p>
次年度への改善点
<p>・本校では、『学力の向上と自律に必要な力の育成』を教育目標として「豊かな心と未来を切りひらく力を備えた生徒」の育成を目指している。具体的には、「わかる喜び」と「できる楽しさ」を実感させ、主体的に学ぶことから学力の向上を図るとともに、グループ活動の中では、自他を尊重し多様性を認め合いながら「豊かな心」を育てている。この教育実践を通して「自ら考え、判断決定し、行動する。」生徒の育成に尽力している。今後、生徒会活動をさらに活性化させるとともに、生徒の主体的な学びを育むため、ひとり1台パソコンの使用方法を各教科で十分協議する必要がある。また家庭学習のあり方については、抜本的に考え直さなければならない。</p>

(様式2)

大阪市立歌島中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を活用した家庭学習を週1回週末に実施する。 <p>【毎週末だけでなく、適宜課題を提示した。デジタルドリルを各自のペースで行わせた】</p> <p>【毎授業の振り返りとしても心の天気やコメントを書かせ、授業力向上にも役立てた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 <p>【ノークラブディを設定し長時間勤務の削減を図り、月平均1人当たり8時間16分削減できている。】</p> <p>学校の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」と答える生徒の割合を60%以上にする。 【49.5%】 2. 令和4年度の学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭 	C

<p>学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 60%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【51.1%】</p> <p>3. 令和 4 年度の日本漢字能力検定における、各級合格率の平均を 60%以上とする。</p> <p style="text-align: right;">【48.5%】</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>図書館を活性化させ、空き教室を学習自習室として整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用したくなるような図書館の環境整備を行い、図書館を毎日開館し、生徒が本に親しめるよう促進する。 ・生徒が本に親しんだり、学習したりする環境を整えるために、学校元気アップ地域本部事業の活用や、地域学生ボランティアの力を借り、図書館を毎日開館する。 ・部活動休養日の生徒の居場所の役目を担う。 ・生徒が主体的に学習に向き合えるよう、漢検や英検、また高校受験に関するコーナーを設置し、気軽に生徒が閲覧・学習できる環境を整える。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用する生徒数と貸出冊数を前年度と比較し、生徒数 1.5 倍、貸出冊数 1.2 倍増とする。 <p style="text-align: right;">【延べ利用者数 (R3) 2709 人→(R4) 1193 人：約 56.0%減】</p> <p style="text-align: right;">【貸出冊数 (R3) 236 冊→(R4) 388 冊：約 164%増】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」および「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、それぞれ肯定的な回答の割合を 60%以上にする。 <p style="text-align: right;">「私は、家で授業の復習や予習をしている」【49.5%】</p> <p style="text-align: right;">「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」【51.1%】</p>	C
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>漢検を通して「できる楽しさ」「わかる喜び」を経験させ、主体的な学びの姿勢を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統的な漢字教育を行い、3 学期に 1・2 年生全員を対象として漢検を受検させる。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度の日本漢字能力検定における、各級合格率の平均を 60%以上とする。 <p style="text-align: right;">【48.5%】</p>	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>○学習自習室を作り、生徒の主体的な学びの姿勢を育む。</p> <p>空き教室を利用して、進路指導室や生徒の学習自習室を用意している。現在、1 教室分の机やイスを整備できている。今後も学習環境の充実を図っていきたい。</p> <p>○生徒の学習自習室を利用し、教員の余裕を生み出す。</p> <p>教職員の働き方改革を受け、三交代制で休憩時間完全消化を計画中である。学習自習室の環境を充実することで、教職員においてもリラックスできる部屋として活用していく。これは、突発的なことがない限り、45 分間完全に仕事から離れられるような体制を構築し、教職員のストレス軽減を図り、新たな気持ちで生徒に接することを狙いとしている。</p>	

次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none">・ひとり一台パソコンを利用し、デジタル学習教材を使った家庭学習の定着を図っているところではあるが、目標値に達していない。しかし、生徒は毎日家庭にひとり一台端末を持ち帰り、心の天気やその日の振り返りをするという習慣は定着しつつある。・家に持ち帰り、パソコンを充電し、学校には電池がフル充電されたパソコンを持ってくるという行いが、当たり前の毎日になっていることは、評価に値すると思われる。

令和 4 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立歌島中学校 学校協議会

1 総括についての評価

「規範意識の育成」や「授業規律の構築」については、各種調査やアンケートなどの結果からも、ほぼ目標通りに達成している。しかし、学力面に関しては、改善はみられるものの目標には届かず、C評価になっている。

今年度の反省を踏まえた課題をしっかりと把握し、改善に向けて次年度の取り組みに活かしていただきたい。

学校が目指している学力の向上と自律に必要な力の育成の実現に期待したい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

学校評価アンケート結果からも、取り組みに対して肯定的な回答をする生徒の割合が高く、安心・安全な学校というイメージが高まっている。引き続き安心・安全な学校づくりに努め、健全な生徒の育成と不登校生徒への対策に取り組んでいただきたい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

全国学力・学習状況調査や、チャレンジテストの結果から、徐々には改善しつつあるものの、まだまだ課題として顕著である。家庭学習の習慣化に向けての取り組みを家庭と連携して図るとともに、授業改善など主体的な学びを育成する取り組みを継続して行い、成果につながることを期待する。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、体力の低下が顕著である。体育の授業や体育的行事などを通じて、バランスのよい体力の向上に取り組んでもらいたい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

学力の定着を図るためには家庭学習の習慣化が大切になってくる。1人1台端末を有効利用し、家庭学習が定着するように取り組むとともに、学習方法のアドバイスなど1人1人に適した学習方法の助言などに取り組んでもらいたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

年度ごとに実施する各調査結果の分析を踏まえた教育実践はよく理解できる。また、各種調査やアンケートの結果から、教育活動全般で好ましい方向に向かっており、生徒の学校の様子からも日々の学校生活に集中して取り組める雰囲気がある。しかし、視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているとは言えない。とりわけ自己肯定感や自己有用感を育成するためにも、日々の教育活動を通じて生徒の興味・関心を引き出し、「わかる喜び」や「できる楽しさ」という成功体験を積み重ねられる取り組みを継続して実践し、基礎・基本的学力の定着と基本的生活習慣の確立を含めた生徒育成に引き続き期待したい。

年々増加傾向になる、不登校生徒への対策を小学校や区役所などとも連携し、この状況に応じた対応に継続して取り組み、不登校生徒の改善に取り組んでいただきたい。

令和4年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」
(添付資料)

- ☐ 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状
 - ☐ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状
 - ☒ 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状
- (☐ 各種年間計画 : ○○年間計画、△△△△年間指導計画、 . . .)

※ 提出する書類に、☒を付けてください。

大阪市立歌島中学校

令和5年3月

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	校内での暴力行為はなく、器物破損等も発生していない。SNSを介したトラブルの発生が目立つため、全校集会や総合の時間を使用して、適切な使用の仕方を繰り返し指導するとともに、安全に対する意識を高めていく。
②いじめの状況等	生徒会が主体となっていじめ撲滅に向けたキャンペーンを全校生徒で取り組むとともに、全校集会などを通じて継続的にいじめ防止に努めているが、発生を防止できていない。今後も日々の生活のようすをきめ細かく見守りながら未然防止を図るとともに、いじめアンケートやスクールライフノートの相談機能を利用した早期発見・早期対応にも努めなければならない。
③小・中・義務教育学校における不登校の状況等	不登校生徒数はやや増加傾向にはあるが、オンライン学習や関係諸機関との連携など、学習機会の確保を図っている。今後も家庭・地域・関係諸機関と継続して連携をするとともに、校内でも個々の状況に応じた不登校生徒の居場所づくりや学習機会の確保を図らなければならない。

※ 両表とも、小・中・義務教育学校は①②③の項目について、それぞれ記入すること